



ももりんMIMだより

小諸養護学校
センター的機能係
平成30年7月2日
No. 4

先日、授業参観をさせていただいたクラスでは、算数の時間に子どもが「先生！ロボットってどうやってかくの？」と質問をしたら、先生が「「ろぼっと」だよ」と動作化をしながら、一緒に確認していました。MIMの特殊音節指導を日常的な取り組みしている場面を普通に見せていただいて、とてもありがたかったです。特殊音節指導をMIMで行っても、行わなくても、授業だけでは定着は難しいと思います。普段の学習の中で確認をしたり、楽しいゲームをしたりすることを通して、確実なものにしていけるといいですね。

MIM-PM「めざせよみめいじん」を生きしましょう

MIM-PM「めざせよみめいじん」の第1回を行ったクラスでは、結果にびっくりしたところもあったようです。それぞれのクラスにお伝えしましたが、第1回の「よみめいじん」の結果の悪かった子どもたちの中には、「読み」に問題があっただけではなくて、問題の「解き方」がうまく分からなくて解けなかった子どもたちも含まれています。そこで、第1回の「よみめいじん」の問題だけを裏表印刷して、時間をとって練習をする「プリントじゃんじゃん」をするとよいそうです。その時に、①テストのやり方が分かっているか、②ゆっくりペースなのか、③分からない問題で止まっているか、④MIM-PMに対するモチベーションが低いのかといった視点で確認をすると、2回目以降の「よみめいじん」では、「読み」のアセスメント結果が出てくるようになるそうなので、やってみてください。

6月以降に「よみめいじん」をはじめた学校も、第1回の「よみめいじん」から順にやっていただき、無理のないように3月までに、およそ月1回くらいのペースで「よみめいじん」が行えるようにあらかじめ計画していただけるとよいと思います。「決めておく」ということはポイントだそうです。第4回の「よみめいじん」を行うと、翌月の「個別の配慮計画」が作成されます。クラスレポートでは総合点、テスト①、テスト②の結果からステージが表示されます。「個別の配慮計画」では、それぞれのお子さんがどこでつまづいているかが分かるようになっていきます。なぜそのお子さんが3rdステージなのか、力をつけるとよいところはどの部分なのか分かり、指導に生かせると思います。そのためにも、アセスメントは毎月継続して実施をお願いします。

また、特殊音節指導が終わったところから、授業でも使っている「ちょっと かわったよみかたの かきとりしゅう」の授業で使っていないものについて、宿題等で活用してくとよいと思います。研修会で紹介しているプリント以外のパターンのプリントもありますので、CDや冊子で見て、使えそうなものがあったら、活用してください。



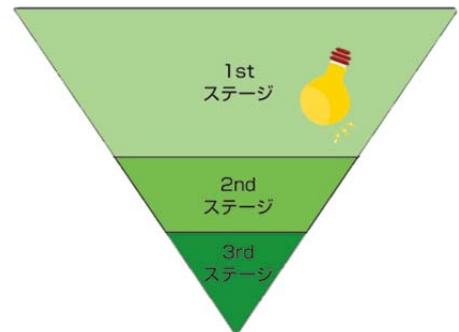
はやくちことばしゅう 取り組んでいます

先日、ある小学校へ行ったら、クラスの子の一人が「先生見て！」とノートを見せてくれました。促音の授業の後のはやくちことばを自分の自由帳に書いてありました（写真）。休み時間には、何人もの子が、できるようになったはやくちことばを見せてくれました。クラスでたのしく「はやくちことば」に取り組んでいるのだろうな、とうれしくなりました。このクラスでは、「はやくちことばしゅう」のポスターを2枚壁に貼ってあって、休み時間に子どもたちが、動作を付けながら練習していました。このような日常的な取り組みの積み重ねが、大きく定着に結びついていくのではないかと感じた一場面でした。



2学期から2ndステージ指導がはじまります

1学期はクラス全体での学習を行う1stステージ指導でした。2学期からは、「1学年の指導事項と授業時数の配当とMIMの指導（光村図書 平成29年度版）」を参考に、MIM-PMの結果と合わせて学習を進めていきます。そこで、夏休みにおすすめの教材準備を紹介します。



- ① これまで行ったMIM-PMを清音、濁音など種類別のプリントにする（苦手な種類を集中的に学習します）
- ② ちっちゃい「や」「ゆ」「よ」のかるた（「きゃ」「きゅ」などの取り札と「きよじん」「おきやく」などの読み札）+拗音の補助シート（かるたでたのしく学習します）
- ③ MIMことば絵カード（CDにあります）を印刷してリングにまとめる（班に1セット程度あるとよさそうです）

詳しくは、お問い合わせください。

今からでもまだ間に合います MIM取り組みませんか？

特殊音節指導をMIMでしなかったから、今更MIMに取り組んでも、、、また、MIMのパッケージがないんだけど、、、などとお考えの皆さん。そんなことはありません。MIMがない学校も小諸養護学校の教材で取り組むことができます。6月に第1回のアセスメントを行った学校にはMIMのパッケージがありませんでした。しかし、担任の先生がMIMのことを調べて、学習に取り組まれていました。アセスメントの結果は1stのお子さんがクラスの64%、平均点が約12点でした。MIMを生かして学習を積み重ねることで、これだけ力をつけることができるのだと知ることができました。まだ取り組んでいない学校の先生方も、今からでも取り組めます。ぜひ、小諸養護学校センター的機能係までお問い合わせください。（Tel 0267-22-6300）